



ロータリークラブの活動を楽しもう!

宮崎南ロータリークラブ
会長 山地久守

第2020回例会 2019.10.7

会長 / 山地久守 幹事 / 大迫雅浩
副会長 / 小園隆司 会報 / 河野慎也
例会場 / 宮崎観光ホテル
ソング / 君が代 四つのテスト
ロータリーの目的

会長挨拶

山地久守会長



皆さん、こんにちは。本日は、2020回例会です。10月4日から10月6日まで、R I D2730地区の地区大会が開かれました。大迫パストガバナーは、10月3日から10月6日のフェアウェルパーティーまで参加されました。大変お疲れさまでした。また、私どもは、10月5日、6日の二日間参加しました。皆様全員が登録して頂きましてありがとうございました。

地区大会は、第一本会議の大野勝彦氏の記念講演、第二本会議の渡辺紀生和尚の「ギター和尚と元気説法」はユーモアを交えながら素晴らしい内容でした。大野勝彦氏は、両手を失った人生のなかで感謝の心を、また、渡辺和尚の演奏、説法も人生において笑いが重要であることを教えて頂きました。大会運営全体を通して大変素晴らしい大会だったと思いました。

また、第一本会議で、R I 会長代理鈴木一作氏は、ロータリーの原点は、Guy Gungaker (1923-24 R I 会長) の考えるロータリーの姿にあるのではないかと述べられました。一つ一つの言葉を深く話して頂きました。さらに親睦、学びの場でもある例会の重要性を説かれ、例会の充実が会長の心意気にかかっているという言葉、重く受け止めています。

出席委員会報告

山崎栄一郎委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数	(44) 47名	会員数	(45) 47名
本日欠席者数	15名	ホームクラブ出席者数	31名
本日出席者数	32名	メイクアップ数	1名
出席率	72.73%	修正出席者数	32名
		修正出席率	71.11%

●前々回メイクアップされた方/日高章智会員

ニコニコBOX	0件	0円	募金箱	5,215円	
	累計	23,000円		累計	46,577円

まだまだ学ばなければいけないと思っています。今後ともご協力くださるようお願い致します。

幹事報告

大迫雅浩幹事



- 地区大会の詳細については山地会長からご報告がありましたが、全員登録にご協力いただきありがとうございました。今回の参加はメンバー21名と米山奨学生、交換留学生が参加、夜の懇親会はメンバー14名のご参加を頂きました。来年は鹿屋になりますのでまた沢山のご参加をお願いいたします。川原P Gから頂いた日本のロータリー100周年記念バッジとお土産のシールを全員分頂きましたのでBOXに入れておきます。
- 10月28日の例会終了後にガバナー公式訪問例会前のクラブ協議会を同会場で行います。理事役員・委員長が対象になりますのでご予約を宜しく願います。その際に一人3分程度事業計画と進捗について報告していただきます。
- 明日8日は当クラブ担当にて会長幹事会が小戸荘で予定しています。

ロータリーフラッシュ

●誕生月

松田安典会員
井上竜志会員



●結婚月

菊池武英会員
甲斐宗雄会員
鬼束孝仁会員
松田安典会員
山崎栄一郎会員
富井雄二会員
河野慎也会員
鈴木 健会員



●米山奨学金授与式

チョティカジョン・アワッサヤ様



地区大会盛会に感謝

大迫三郎PG



今年度は1,300余名の参加で皆様の多くの参加を戴き無事盛会に終わり感謝致します。

ロータリーはクラブが第1の構成員であること。例会が最も重要であること。例会やクラブを通じて、親睦-学ぶ-奉仕につなげる事がロータリーの原点だと、鈴木一作RI会長代理の主な論点でした。

私は地区ロータリーのビジョン作成に一役尽くしたいと思います。

本日のプログラム

米山奨学生卓話

タイと私について チョティカジョン・アワッサヤさん



タイは、東南アジアに位置する立憲君主制国家です。人口は約7,000万人、日本からタイまでの飛行時間は、直行便で約6時間から7時間前後です。タイの首都はバンコク都で、実は世界一長い名前の首都として知られています。

バンコクは、寺院、美術館、博物館やショッピングセンター、レストラン、カフェ、バー、ギャラリーなどが混在し、交通網も発達している大都会です。他にもタイといえば、第2の都市のチェンマイやリゾート地として世界的に知られているプーケットが有名です。チェンマイは、タイ北部に位置する第2の都市で、歴史のある美しい街です。街の風景と自然が見事に調和し、首都のバンコクよりもゆったりとした時間が流れています。都会の慌しい暮らしから離れて、ゆったりとスローライフを送りたいという人にはチェンマイがおすすめです。

プーケットは、アンダマン海に面したタイ最大の島です。世界中から多くの観光客がエメラルドの海と真っ白な砂浜を見にやってきます。さらに、ダイビングやサーフィンをはじめとするマリナクティビティを行うには絶好の場所です。タイの災害については、地震や台風は起こりませんが、洪水は毎年発生し、たくさんの被害がでます。

名前はチョティカジョン アワッサヤと申します。ニックネームはマイです。

タイの文化で、タイ人はみんなニックネーム持っています。平成4年6月4日にバンコクで生まれ、兄が一人います。カセサート大学に入り、3年生の時にアメリカのコタール州へ行きました。

その時に、見たことないことや知らないことをたくさん勉強でき、このことがきっかけで留学したと思うようになりました。そして、大学を卒業してから日本へ留学しました。日本を選んだ理由は、日本語も英語も勉強できるからです。また、日本の農業の技術がとても素晴らしかったからです。

留学している二年間の間、毎日が楽しく、たくさんの友達できました。そして、あっという間に卒業をむかえました。その後タイに戻り、枝豆を作っている企業で1年間研究者として務めました。

しかし、仕事をしている中で、大学の先生になりたいと思う気持ちが芽生え、今は日本に戻って博士課程で勉強を頑張っています。

